

- ・ 挨拶 公益社団法人山梨青年会議所おもいやり実践委員会委員長 佐野秀と申します。今回「山中湖障害児親子宿泊交流会 山中湖で春の遠足」と題し、事業を行いました。
- ・ 最初 皆さんの中には、お子さんがいらっしゃる方も多いと思います。自分の子供が人に抱っこされると、嬉しくて泣いてしまう。そんな気持ちが解りますか？障害者の家族は孤独です。そして家族は障害を背負い込み、悩み事を相談できるような繋がりはありません。2年前の事業にて現在当青年会議所の理事長である吉原が障害施設同士の繋がりを作りました。その遺志を受け継ぎ、今回は障害児に目を向け、障害児を持つご家族間の繋がりを持たせたいと考えました。障害者を持つ家族だけで旅行に行くことは**とても大変です**。各障害により毎回決まった時間に薬を飲ませる、寝返りをさせる、等で家族の負担が大きすぎるのです。ましてや複数の家族と一緒に1泊2日の旅行に出かけるのは不可能です。しかし、我々青年会議所が手伝うことにより、児童発達支援センター「ひまわり」のサポートのもと、今回の宿泊事業を実現することができました。参加のべ人数は大人52名、子供29名 20家族に及びました。
- ・ 基本方針 (基本方針一読) 障害を理解する、といった基本的なことを念頭に置き、お聴きください。また今回、各場所への移動は宿泊施設の大型バスを利用しました。みんなで大型バスに乗って移動する、ということが出来ないからです。
- ・ ミニ運動会・宝箱づくり・乗馬は一読
- ・ 風呂 普段は家の風呂しか入りません。ましてやみんなと一緒に大浴場なんてありません。これは宿泊施設にお願いして風呂を貸し切り、メンバーが子供たちと一緒に入って体を洗ってあげることで実現しました。
- ・ バーベキュー こちらも複数の家族と一緒に食事をすることはありません。火を使うので安全配慮はもちろんのこと、メンバーが焼き方や配膳等を行うことでご家族の皆様にはゆつたりと食事を取っていただくことができました。
- ・ 花火 夕食後の遅い時間、周囲が真っ暗の中で一緒に花火をすることも初めてです。湖畔ということもあり、メンバー全員で周囲を囲い安全配慮を徹底したことで実現しました。
- ・ 懇談会 子供達の就寝後、親御さんとの懇談会を企画しました。本当に来てくれるのだろうか？と不安がよぎりましたが、宿泊した全てのご家族からご参加をいただきました。これは「ひまわり」の職員が就寝後の子を見ていてくれたからです。ある親御さんは急に泣き出し、我々に何度もお礼を言いました。また、ある親御さんは10年ぶりにお酒を飲まれたそうです。子を持つ全ての親はみな子供の将来を気に掛けます。ましてや障害児の親となれば尚更です。大きくなったら・・・、私達がいなくなったら・・・と、今までも、そしてこれからもずっと不安だそうです。同じ境遇のご家族と問題の共有ができた、相談する相手があった、と涙を流しながらお礼を言われ、「ああ、この事業をやってよかった」と心から思いました。
- ・ 参加者写真 この事業については、来年度以降ひまわりが中心となって頂く予定となっております。
- ・ 最後 「明るい豊かな社会を実現する」これは青年会議所の目的です。この社会には色々な人が住んでいます。みんなが明るい豊かな社会を実現するために、青年会議所はこのような福祉事業にもっと関わっていくべきではないでしょうか？